

トップ 政治・経済ニュース 記事詳細

[政治・経済]

農水省、A Iで廃棄ロス削減-食品流通を効率化

ツイート シェア 142 LINEで送る (2018/1/8 05:00)



農林水産省は2018年度に、人工知能（A I）を活用した効率的な食品流通構築に乗り出す。食品サプライチェーンの生産や販売、市況、消費者行動データなどをA Iで収集・解析し、農産物が欲しい実需者に直接つなげて廃棄ロス削減や適正価格実現を目指す。国内のフードロス発生量は年間600万トン強とされ、食料自給率の面からも削減が急務になっている。まずはレタスなどの葉物野菜から研究し、他作物にも順次、広げる計画だ。

研究機関や民間企業、農業法人などで構成するコンソーシアムを公募し、3月末に選定したい考え。A Iシステムの有効性は、大勢のプレーヤー参加がカギとなる。農業者はもとより、リレー出荷を行う大手食品や小売り企業のシステム、電子商取引やフー

ドバンク事業者とも連携させ、利便性を高める。蓄積学習できるA Iの強みも生かし、精度を向上させる。

農産物は工業製品とは異なり、天候に大きく左右され計画生産が難しい。レタスなどは価格が1個70〜400円程度で変動することはざら。これが農家の収入不安をもたらすと同時に、地域により供給過剰や野菜不足をもたらす原因になっている。カット野菜会社や大手スーパー、外食チェーンで全国農家組織化やリレー出荷を図るところも出ているが「多くは困い込みの色彩が強く、農家には十分浸透していない」（同省技術会議事務局）実態がある。生産者、仲卸、小売り流通が幅広く使えるデータ連携基盤にA Iを活用し、ムダのない効率生産と物流へつなげる。

(2018/1/8 05:00)

ツイート シェア 142 LINEで送る

マイクリップ登録する 紙面イメージで見る 記事を利用する

あわせて読みたい

ディーゼル車が欧州から消える？ 仏ルノー幹部が予測、VW不正の規制強化でコスト増

東京モーターショー／ヤマハ発、電動2輪を知能化東京モーターショー／ヤマハ発、電動2輪を知能化

第12回企業ランキング／トヨタが3年連続首位

セイコーエプソン、人協調ロボに参入セイコーエプソン、人協調ロボに参入

炭水化物が止められない私が試みた、富士フィルムのサブリ
富士フィルム[提供リンク]

それで合ってる？正しい手洗いを学ぼう

ようこそ、
jpabscmrnews@abeam.com
(ログイン中)

[ログアウト]

マイページ マイニュース マイ

電子版からのお知らせ

日刊工業新聞社からのお知らせ

最近あなたが読んだ記事

2018/01/09
沢井製薬、チャットボット導入 業務効率化



カレンダーから探す

| 12月 | | | | | | | 2018年01月 ▼ | | | | | | |
|-----|---|----|----|----|----|----|------------|--|--|--|--|--|--|
| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | | | | | | | |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | | | | |
| 7 | | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | | | | | | |
| 14 | | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | | | | | | | |
| 21 | | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | | | | | | | |
| 28 | | 29 | 30 | 31 | | | | | | | | | |

今日の紙面PDF

